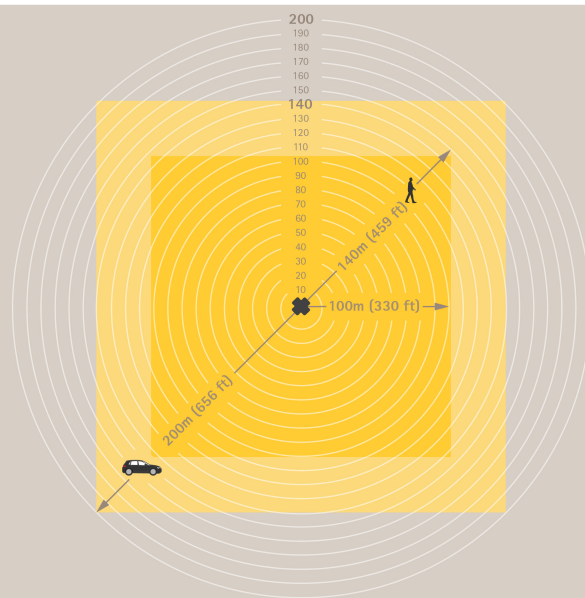


## AXIS D2124-VE Radar

### 360°をカバーする年中無休の監視により、エリア警備の信頼性を向上

このレーダーは、あらゆる気象条件や光条件下において、広大なエリアを360° にわたって検知し、AIを活用した分類を行います。このように広範囲をカバーしているにもかかわらず、1m<sup>2</sup>/ft<sup>2</sup>あたりの消費電力が低く、エネルギー効率に優れています。頑丈なポールや移動式監視トレーラー、あるいは屋上にマウントできるように設計されています。さらに、レーダー画像の安定化機能により、風が強い環境下でもより正確な検知が可能になっています。AXIS D2124-VEは、既存のAXIS Q6225-LEPTZカメラ設備に簡単に追加でき、Axis製の高出力PoE 120 W ミッドスパンを使用して給電することで、AXIS RadarAutotracking for PTZを活用した視覚およびレーダーによるダブルロック検証を有効にすることができます。さらに、PoE出力端子があるため、追加のケーブル配線は必要ありません。

- > 40,000 m<sup>2</sup> (430,000 ft<sup>2</sup>) の人認識ゾーン
- > 効率的なカバーレッジを可能にするボックス型監視ゾーン
- > 1m<sup>2</sup>/ft<sup>2</sup>あたりの平均消費電力が低い
- > AXIS Q6225-LEPTZカメラと連携して作動。
- > オプションのダブルロック機能



# AXIS D2124-VE Radar

## レーダー

プロファイル  
エリア監視

センサー  
FMCW (周波数変調連続波)

物体のデータ  
物体タイプ (クラス:人、車両、不明)、範囲、方向、速度

周波数  
24.05～24.25 GHz

RF送信電力  
<100 mW (EIRP)  
無料ライセンス。無害な電波。

推奨取り付け高  
4～10 m (13～33 ft)<sup>(1)</sup>

認識ゾーン  
エリア監視プロファイル: 人検知時に最大140 m (450 ft)。<sup>(2)</sup>図解については、最初のページを参照してください。

検知範囲  
エリア監視プロファイル: 車両検知時に最大200 m (650 ft)。<sup>(2)</sup>図解については、最初のページを参照してください。

ラジアル速度  
エリア監視プロファイル: 最高時速80 km (50 mph)

検知フィールド  
水平方向：360°

速度精度  
+/- 2 km/h (1.25 mph)

距離精度  
エリア監視プロファイル: 0.9 m (3 ft)

角度精度  
<0.5°

空間的区別  
3 m (移動する物体間の最小距離。)

データリフレッシュレート  
6.67 Hz

撮影範囲  
エリア監視プロファイル: 40,000 m<sup>2</sup> (430,000 ft<sup>2</sup>) (人に対して)  
79,000 m<sup>2</sup> (850,000 ft<sup>2</sup>) (車両に対して)

共存ゾーン  
周波数帯:24 GHz  
半径:500 m (1,640 ft)  
レーダーの推奨台数:最大12まで

レーダーコントロール  
複数の検知ゾーン、クロスライン検知 (1本または2本のラインを使用)、除外ゾーン (一時的な物体、物体の速度、物体のタイプに対するフィルター、設定可能なトリガー継続時間を使用)  
レーダー送信のオン/オフ、レーダー画像安定化、グリッド不透明度、ゾーン不透明度、カラースキーム、トレイルの残存時間、検知感度、揺れ物体フィルター、不明物体フィルター、基準マップのキャリブレーション (スケール、パン、ズームのオプション付き)

## システムオンチップ (SoC)

モデル  
ARTPEC-9

メモリー  
RAM 4 GB、フラッシュ8 GB

コンピューティング機能  
深層学習処理ユニット (DLPU)

## ビデオ

ビデオ圧縮  
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline Profile、Main Profile、High Profile  
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル  
AV1  
Motion JPEG

解像度  
16:9: 1920x1080～320x200  
4:3: 1280x960～160x120

フレームレート  
すべての解像度で最大10 fps (50/60 Hz)

- 取り付け高さは検知範囲に影響します。詳細については、[axis.com](https://axis.com)でユーザーマニュアルを参照してください。
- 5 mの取り付け高さで測定。詳細については、[axis.com](https://axis.com)でユーザーマニュアルを参照してください。

ビデオストリーミング  
最大20の設定可能でユニークなビデオストリーム<sup>(3)</sup>  
Axis Zipstream technology (H.264、H.265、AV1)  
フレームレートおよび帯域幅の制御  
VBR/ABR/MBR H.264/H.265/AV1  
低遅延モード  
ビデオストリーミングインジケーター、

## ネットワーク

ネットワークプロトコル  
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS<sup>(4)</sup>、HTTP/2、TLS<sup>(4)</sup>、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP<sup>®</sup>、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、PTP、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンクローカルアドレス (設定不要)

## システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース  
VAPIX<sup>®</sup>、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については[axis.com/developer-community](https://axis.com/developer-community)を参照)。  
One-Click Cloud Connection (ワンクリッククラウド接続)。  
ONVIF<sup>®</sup> Profile G、ONVIF<sup>®</sup> Profile M、ONVIF<sup>®</sup> Profile S、ONVIF<sup>®</sup> Profile T (仕様については[onvif.org](https://onvif.org)を参照)

ビデオ管理システム  
AXIS Camera Station Proおよび[axis.com/vms](https://axis.com/vms)で入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール  
メディアクリップ

エッジツーエッジ  
マイクのペアリング  
スピーカーのペアリング  
カメラのペアリング  
サイレンとライトのペアリング

イベント条件  
アプリケーション  
装置ステータス:動作温度範囲超過/動作温度範囲未満/  
動作温度範囲内、IPアドレスブロック/削除、ライブ  
ストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新しいIPア  
ドレス、システム準備完了  
エッジストレージ:録画中、ストレージの中断、スト  
レージの健全性に関する問題を検知  
I/O:手動トリガー、仮想的入力がある有効  
MQTT:MQTTクライアントを接続しました  
スケジュール、繰り返し:スケジュール

イベントアクション  
照明:照明を使用、ルールが有効な間に照明を使用  
LED:ステータスLEDが点滅、ルールが有効な間にス  
テータスLEDが点滅  
MQTT:MQTT公開メッセージの送信  
通知:HTTP、HTTPS、TCP、電子メール  
オーバーレイテキスト:  
レーダー:動的LEDストリップ、レーダーオートトラッ  
キング、レーダー検知  
セキュリティ:設定の消去  
SNMPトラップメッセージ:送信、ルールが有効な間に  
送信  
画像またはビデオクリップ:FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/  
ネットワーク共有/電子メール

データストリーミング  
レーダーメタデータ:相対位置、GPS 位置、<sup>(5)</sup>、速  
度、進行方向、物体タイプ

設置支援機能内蔵  
参照マップのキャリブレーション、チルト角度のセン  
サー、GPS位置

## 分析機能

アプリケーション  
サポート  
AXIS Radar Autotracking for PTZ (Slew to Cue)  
サポートされているカメラについては、[axis.com/products/axis-radar-autotracking](https://axis.com/products/axis-radar-autotracking)を参照してくださ  
い。  
AXIS Camera Application Platformに対応し、サード  
パーティ製アプリケーションをインストール可能  
([axis.com/acap](https://axis.com/acap)を参照)

## 認証

製品のマーキング  
CE、CRA、CRC、ENACOM、FCC、ICASA、MIC  
Telecom、MOC、MTC、RATEL、RCM、RSM、  
SUBTEL、UL、URSE、VCCI、WPC

3. ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。
4. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project ([openssl.org](https://openssl.org)) によって開発されたソフトウェアとEric Young ([eyay@cryptsoft.com](mailto:eyay@cryptsoft.com)) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
5. レーダーのGPS位置を手動で入力して、データストリームの物体のGPS位置を取得します。

## サプライチェーン TAA準拠

### EMC

EN 55035、EN 55032 Class B、EN 50121-4、  
EN 61000-6-1、EN 61000-6-2  
米国: FCC Part 15 Subpart B Class B  
鉄道: IEC 62236-4

### 安全性

CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 4、  
IEC/EN/UL 62368-1 ed. 4、EN 62311、  
RCM AS/NZS 62368.1:2022

### 環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、  
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、  
IEC/EN 60529 IP66/IP67、IEC/EN 62262 IK09/IK10、  
ISO 21207 (Method B)、ISO 4892-2、  
ISO 12944-6 C5、NEMA 250 Type 4X、  
NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)

### 無線

EN 300440、EN 301489-1、EN 301489-3、  
FCC Part 15 Subpart C、RSS-210

### ネットワーク

NIST SP500-267

### サイバーセキュリティ

EN 18031-1、ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、  
FIPS 140

## サイバーセキュリティ

### エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC 6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-2レベル1)  
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム  
セキュアキーストア: セキュアエレメント (CC EAL 6 +、FIPS 140-3 レベル3)、システムオンチップセキュリティ (TEE)  
AxisデバイスID、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

### ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2) <sup>(6)</sup>、  
IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE  
802.1AR、HTTPS/HSTS <sup>(6)</sup>、TLS v1.2/v1.3 <sup>(6)</sup>、Network  
Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベ  
ースのファイアウォール

### 文書化

AXIS OS/ハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axis Security Development Model

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、[axis.com/support/cybersecurity/resources](https://axis.com/support/cybersecurity/resources)にアクセスしてくだ  
さい。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細につい  
ては、[axis.com/cybersecurity](https://axis.com/cybersecurity)にアクセスしてくださ  
い。

## 電源

### Power over Ethernet入力

レーダーのみに電力を供給する場合: IEEE 802.3atPoE+  
タイプ 2 クラス 4  
PoE出力端子から2台目の装置に電力を供給する場合:  
Axis High PoE 120 W

### Power over Ethernet出力

IEEE 802.3bt、タイプ4クラス8、最大71 W

### 消費電力

最大 27 W、通常14.8 W

### 機能

電力メーター

## 概要

### ケーシング

IP66/67、NEMA 4X、およびIK10の各規格に準拠  
アルミニウム/プラスチック製ケース

カラー: グレーNCS S 5502-B

再塗装の手順については、製品のサポートページを参  
照してください。保証への影響については、[axis.com/warranty-implication-when-repainting](https://axis.com/warranty-implication-when-repainting)にアクセ  
スしてください。

### コネクター

ネットワーク: シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-  
TX/1000BASE-T PoE、  
ネットワーク: シールド付きRJ45 1000BASE-T PoE出力  
外部PoE装置の電源供給用

### ダイナミックLED

RGB (赤、緑、青) のLEDと既定のライトパターンを備  
えた動的LEDストリップ  
昼間の可視性: 最大60 m <sup>(7)</sup>

6. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project ([openssl.org](https://openssl.org)) によって開発されたソフトウェアとEric Young ([eyay@cryptosoft.com](mailto:eyay@cryptosoft.com)) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

7. 直射日光が当たる場所。光量が少ない条件では、この範囲は広くなります。

## ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応  
SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)  
NAS (Network Attached Storage) への録画  
推奨されるSDカードとNASについては、[axis.com](https://www.axis.com)を参照

## 動作温度

温度: -40 ° C ~ 60 ° C (40 ° F ~ 140 ° F)  
湿度 10 ~ 100% RH (結露なし)

## 保管条件

温度: -40 ° C ~ 65 ° C (-40 ° F ~ 149 ° F)  
湿度: 5 ~ 95% RH (結露不可)

## 寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。  
有効投影面積 (EPA): 0.06 m<sup>2</sup> (0.65 ft<sup>2</sup>)

## 重量

7800 g (17.2 lb)

## パッケージ内容

レーダー、インストールガイド、フィルターボックス、TORX® T20およびT30ビット、PoEコネクターケーブル、RJ45プッシュプルコネクターキット、単体インストール用カバー、PTZカメラとの併設用カバー、所有者認証キー

## システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、AXIS Installer、プロダクトセクター、アクセサリセクター  
[axis.com](https://www.axis.com)で入手可能

## 言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

## 保証

5年保証、[axis.com/warranty](https://www.axis.com/warranty)を参照

## ソフトウェアサポート

2030年まで新機能展開 (AXIS OS 12、13、14)  
2035年12月31日までサポート (AXIS OS LTS 2030 ~ 2035)  
AXIS OSのライフサイクルについては、[help.axis.com/axis-os](https://help.axis.com/axis-os)をご覧ください

## 製品番号

[axis.com/products/axis-d2124-ve-radar#part-numbers](https://www.axis.com/products/axis-d2124-ve-radar#part-numbers)  
で入手可能

## オプションアクセサリ

### 設置

AXIS T8415 Wireless Installation Tool

### ストレージ

AXIS Surveillance Card

その他のアクセサリについては、[axis.com/products/axis-d2124-ve-radar#compatible-products](https://www.axis.com/products/axis-d2124-ve-radar#compatible-products)をご覧ください

## サステナビリティ

### 物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)

RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863、規格EN IEC 63000:2018に準拠  
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、[echa.europa.eu](https://echa.europa.eu)を参照

### 材料

再生可能な炭素系プラスチックの含有率: 67% (バイオ系)

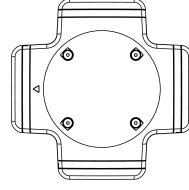
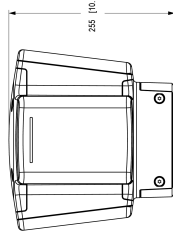
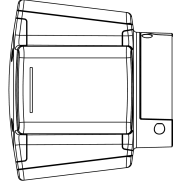
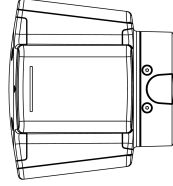
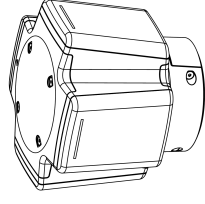
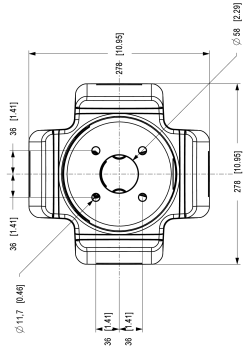
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

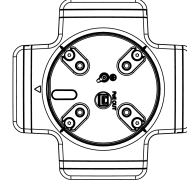
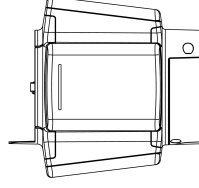
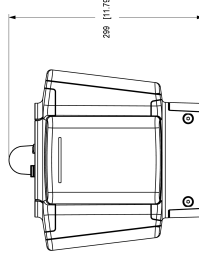
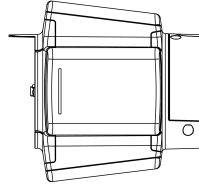
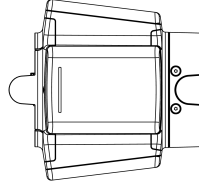
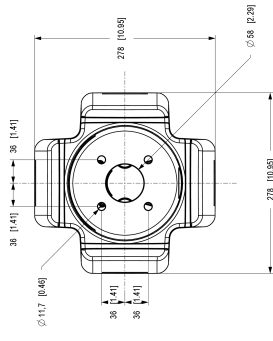
Axisの持続可能性の詳細については、[axis.com/about-axis/sustainability](https://www.axis.com/about-axis/sustainability)にアクセスしてください。

### 環境責任

[axis.com/environmental-responsibility](https://www.axis.com/environmental-responsibility)

Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については[unglobalcompact.org](https://unglobalcompact.org)を参照)





## 注目の機能

### ボックス型の検知・認識ゾーン

当社の革新的なボックス型監視ゾーンは、効率的かつ最適なカバレッジ計画を可能にし、システム設計を容易にします。これらのゾーンにより、指定された範囲内で物体を正確かつ確実に検知・分類でき、監視能力が向上します。

独自のボックス型ゾーンを使用することで、レーダーは想定されたエリア内の物体を正確に追跡・監視でき、包括的な状況把握とギャップのないカバレッジを実現する可能性を提供します。この手法はカバレッジを最適化し、効果的かつ信頼性の高い監視を保証します。

### 動的LEDストリップ

動的LEDストリップは一部のAxisレーダーの機能です。RGB (赤、緑、青) のLEDと既定のライトパターンを使用して、抑止、警告、通知を行うことができます。

### Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

詳細については、[axis.com/glossary](https://axis.com/glossary)を参照してください。